

# ストレンジック® 皮下注 自己注射マニュアル

治療を受けるご家族と患者さんのために

監修

埼玉県立小児医療センター 副病院長

望月 弘 先生



ストレンジック®を  
お使いいただく  
前に



スターターパック  
持ち運びと  
保管方法



注射方法①  
準備



注射方法②  
注射



廃棄物の  
取り扱い方



よくある質問と  
答え

## はじめに

この自己注射マニュアルは、ストレンジック®を処方された低ホスファターゼ症の患者さんのためのものです。医療従事者から適切なトレーニングを受けるまでは、ご自身でストレンジック®の注射を行わないでください。このマニュアルは、医療従事者によるトレーニングの補助資料として作成されています。このマニュアルでは、ストレンジック®の保管方法、皮下注射の具体的な方法等について、わかりやすい図を使って詳細に説明しています。ご質問がございましたら、主治医の先生にお問い合わせください。



ストレンジック®「患者さんにご家族向け情報サイト」に、全ての手順を見る場合とシーン別に手順を見る場合の動画が掲載されていますので、ご参照ください。

患者さんにご家族向け情報サイト  
[http://strensiq.jp/pt/move/self\\_all\\_scene.html](http://strensiq.jp/pt/move/self_all_scene.html)

全ての手順を見る



ご家族による注射



自己注射

## CONTENTS

### Chapter 1 ストレンジック®をお使いいただく前に

皮下注射について	3
ストレンジック®の1回投与量、投与間隔について	4

### Chapter 2 スターターパック — 持ち運びと保管方法

スターターパックについて	5
ストレンジック®の持ち運びに関する注意事項	6
ストレンジック®の保管方法	7

### Chapter 3 注射方法① — 準備

ストレンジック®の準備	8
バイアルと注射器の各名称	9
注射の準備	9

### Chapter 4 注射方法② — 注射

注射部位	12
注射の記録	13
注射する前に	14
注射の基本的な手順	15
ご家族による注射：うで	16
ご家族による注射：太もも	18
ご家族による注射：おしり	20
自己注射：太もも	22
自己注射：お腹	24

### Chapter 5 廃棄物の取り扱い方

廃棄物について	26
---------	----

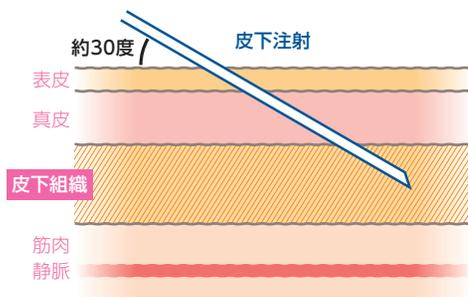
### Chapter 6 よくある質問と答え

保管・廃棄について、注射について、注意事項	27
-----------------------	----

## 皮下注射について

### 皮下注射とは

皮膚と筋肉組織の間にある「皮下組織」に行う注射を皮下注射といいます。皮下注射に適している部位は、皮下脂肪の厚みがあって柔らかく、関節や神経、血管、骨などから離れているところです。



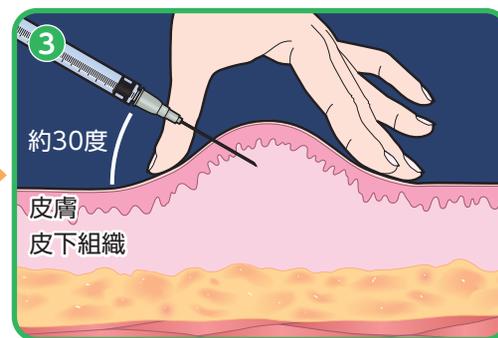
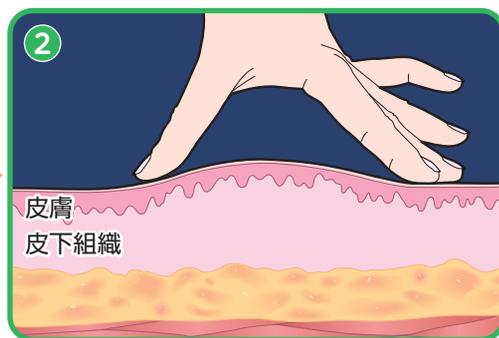
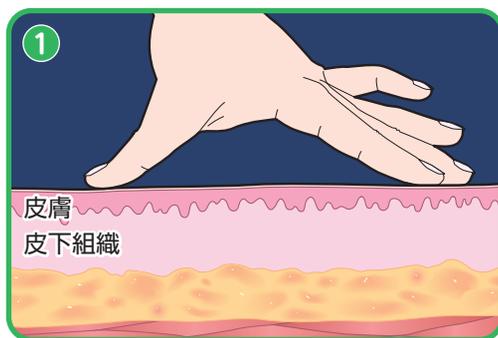
**Check!**

皮下注射の場合、一般的に注射針の刺入の角度は約30度、刺入の深さは注射針の1/2～2/3程度です。

ただし、刺入の角度や深さは皮下脂肪の厚さによって異なりますので、主治医の先生の指示に従いましょう。

### 皮下注射のしかた

- ①皮膚を優しく持ち上げるようにつまみます。
- ②皮膚をつまむことで、皮下組織のスペースが広がります。強くつまみすぎると筋肉の組織まで持ち上げてしまう可能性があるため、強くつまむのは避けてください。
- ③注射針が皮下組織に刺入するように、つまんだ皮膚の真ん中に針を刺します。刺入の角度や深さは主治医の先生の指示に従ってください。



## ストレンジック®の1回投与量、投与間隔について

### 1回投与量はどのように決まるのですか

ストレンジック®は、患者さんごとに適した量で投与する皮下注射薬です。そのため、患者さんの体重と投与間隔に基づいて、主治医の先生が1回あたりの投与量を決めます。

### どのような間隔で投与すればいいのですか

ストレンジック®は、週3回または週6回で投与していただきます。どちらの投与間隔がよいか、主治医の先生とよく相談して決めてください。

- 週3回投与の場合：1日おきに投与します。  
例えば、「月・水・金」または「火・木・土」が投与日になります。
- 週6回投与の場合：1週間のうち、1日だけ休薬します。  
例えば、月～土が投与日になります。

注射した際に注射した部位が赤くなったり、少し痛くなったり、腫れたりすること（「注射部位反応」といいます）がありますが、この反応は週3回投与より週6回投与で多く報告されています。



### Check!

自己注射は、医療従事者が自己注射マニュアル等をもとにトレーニングを行い、患者さんご自身または保護者が確実に投与できることを確認してから実施可能となります。

主治医の先生から指示された1回投与量（注射薬液量）と投与間隔を守って注射しましょう。

### 実際にはどのように処方されるのですか

患者さんの体重と1回投与量をもとに、主治医の先生が注射薬液量（1回あたりに注射していただく薬液の量）を計算します。ストレンジック®には5種類のバイアル（注射薬液が入った容器）が用意されていますので、その中から患者さんごとに計算した注射薬液量に合ったバイアルを主治医の先生が選択（処方）します。

商品名	バイアル キャップの色
ストレンジック®皮下注 12mg/0.3mL	●
ストレンジック®皮下注 18mg/0.45mL	●
ストレンジック®皮下注 28mg/0.7mL	●
ストレンジック®皮下注 40mg/1mL	●
ストレンジック®皮下注 80mg/0.8mL	●



注射薬液が入ったバイアル  
注射の際は、  
バイアルから  
薬液を注射針  
で吸い取って  
注射します

### 体重が変わったらどうすればいいですか

体重が変わると1回投与量や注射薬液量（つまり、処方されるバイアルの種類・数）が変わることがあります。体重の変化が大きいときは主治医の先生に相談しましょう。

## スターターパックについて

ストレンジック®の自己注射を始めるにあたって、スターターパック(トートバッグ)が手渡されます。主治医の先生からスターターパック(トートバッグ)を受け取ったら、中身を確認しましょう。



スターターパック



ご家族による注射



自己注射

### スターターパックの内容物

スターターパックの「トートバッグ」の中には、以下のものが入っていることをご確認ください。

※「自己注射マニュアル」「注射トレーニングパッド」「トレーニング用サンプルバイアル」は、「トートバッグ」とは別に渡されることがあります。



トートバッグ



保冷バッグ※



保冷剤



自己注射マニュアル



注射器廃棄容器



注射トレーニングパッド



トレーニング用  
サンプルバイアル

※保冷バッグにはストレンジック®のバイアルが最大12本入ります。スターターパックには保冷バッグが2つ入っており、足りない場合には、予備の保冷バッグをご準備いたします。看護師等にお声をかけてください。

## ストレンジック®の持ち運びに関する注意事項 (スターターパックに入っている「保冷バッグ」と「保冷剤」をセットで使う場合)

### ストレンジック®の持ち運びについて

- ストレンジック® (バイアル) は2~8℃で保管します。そのため、持ち運びの際は必ず保冷バッグを利用し、保冷剤で適正温度を保ってください。
- ストレンジック® (バイアル) は箱から取り出さずに、バイアルの箱ごと保冷バッグに入れましょう。
- ご自宅に戻られましたら、保冷バッグからストレンジック® (バイアル) を取り出し、冷蔵庫で保管しましょう。

### 保冷バッグと保冷剤について

保冷剤は、48時間以上冷凍庫に入れて凍らせ、次の処方日には忘れずに保冷バッグに入れて病院に持参してください。

#### 保冷バッグで保存できる時間の目安と外気温の範囲

保冷バッグの温度を2~8℃に保つことができる時間の目安です。  
保冷剤で適正温度を保ってください。

外の温度	保冷バッグの温度を2~8℃に保つことができる時間の目安
15°	約17時間
20°	約12.5時間
25°	約9時間
30°	約6.5時間



直射日光に当たったり、高温多湿の場所に置いたりしないでください。車の中に放置することも避けましょう。



### 旅行などでの持ち運びについて

ストレンジック® (バイアル) を旅行などで持ち運ぶ際には、主治医の先生にご相談ください。



#### ● 機内持ち込み

飛行機での移動の際は、必要に応じて、航空会社等に連絡し、注意事項をご確認の上、常に持ち込み手荷物として携行してください。

医師からの証明書が必要な場合があります。

## ストレンジック®の保管方法

### ストレンジック®は冷蔵庫に入れ、2～8℃で保管してください

冷蔵庫の扉のポケット部や野菜室での保管をおすすめします。  
冷凍庫内に入れたり、チルド室や冷気の吹き出し口に置いたりしないでください。



### ストレンジック®保管時のその他の注意点

- 光の影響を避けるため、箱のまま保管してください。
- バイアルや注射器などを取り出して保管しないでください。
- 子どもや動物（ペット）の手の届かないところに保管してください。
- 使用期限の過ぎた薬剤は使用しないでください。



Check!

ストレンジック®は凍結させないように注意しましょう。凍ったことがわかった場合または疑われる場合には、決してそのストレンジック®を注射しないでください。



### ※ 停電時の保管について

停電時には、保冷剤を入れた保冷バッグで保管しましょう。保冷バッグで適正に保冷できる時間の目安については、前ページの「ストレンジック®の持ち運びに関する注意事項」をご参照ください。地震などで停電が長期に及ぶ場合は、主治医の先生またはアレクシオンファーマお問い合わせ先までお問い合わせください。

## ストレンジック®の準備 (※ストレンジック®は毎回新しいバイアルを使用します)

冷蔵庫で保管していたバイアルを取り出し、15～30分かけて室温に戻します。加熱加温はしないでください。3時間以内に使用してください。バイアルが室温に戻ったら、清潔な場所に以下のものを準備しましょう。



注射用バイアル

↑主治医の先生から指示されたバイアルを、その用量を守り注射してください。



注射器



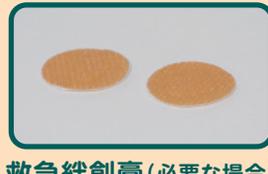
消毒用アルコール綿



廃棄用のビニール袋※



注射器廃棄容器



救急絆創膏(必要な場合)



ストレンジック®投与日誌  
(または他の記録手段)

※ビニール袋は、使用済みのバイアル・バイアルの上ぶた・注射針キャップを廃棄するためのものです。病院の指示に従ってご準備ください。



Check!

冷蔵庫からバイアルを取り出したら、3時間以内に使用してください。

注射方法① 準備



ご家族による注射

自己注射



準備ができれば、石鹸で両手・両手首をよく洗います。手のひら、手の甲、指の間、指先、手首まで、まんべんなく洗いましょう。



1 まず、両手・両手首の汚れを流水で落とす



2 石鹸で両手・両手首を十分に洗う



3 流水でよくすすぐ



4 きれいなタオルまたはペーパータオルでよく水気をふき取る

## バイアルと注射器の各名称

### バイアル



注射器は、シリンジに注射針の付いた一体型の注射器が提供される場合と、シリンジと注射針が別々に提供される場合があります。

ここでは、一体型の注射器による注射方法を説明します。

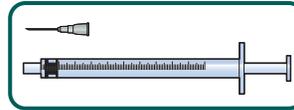
※注射針とシリンジが別々に提供された場合は、特に医療従事者より取り扱いの説明を十分に受けてください。

### 注射器



注射器は、必要な液量を正確に吸引できるように、適切な大きさのものを選択します。通常、1mLか、2.5mLのものが使われます。

シリンジと注射針が別々の注射器



### Check!

**注射薬液はふらないでください。**  
 ストレンジック®はタンパク質製剤のため、薬液をふると気泡が生じます。薬液は通常、無色～淡黄色の透明またはわずかに乳白光を呈しています。なお、薬液中に製剤由来の半透明または白色の微粒子を認めることがありますが、品質には問題ありません。  
 万が一、バイアルの中の薬液が濁っていたり、異物を認めたりした場合は、そのバイアルは使用せず、主治医の先生にご相談ください。

## 注射の準備



バイアルを室温に戻したら、保護キャップを外します。

⚠️ 露出した滅菌ゴム栓には触れないようにしてください。



バイアルの滅菌ゴム栓を消毒用アルコール綿でしっかりふいて消毒します。



注射器の包装を開封します。

(次のページに続く)



注射針のプラスチック製キャップを外します。

**!** 外したキャップは針刺し事故防止のため、注射針に再度装着しないでください。



プランジャーを後ろに引き、注射する用量と同じ量の空気を注射器内に吸入します。



注射器とバイアルを45°の角度に持ち、ゴム栓からバイアル内に注射針を挿入します。

**!** ゆっくり、真すぐに注射針がゴム栓を通るようにすることを心がけましょう。



**!** 注射針が曲がる原因になりますので、注射針を刺している間は、横方向の力が加わらないようにしましょう。



次に、プランジャーを最後まで押し込み、バイアル内に空気を注入します。

**!** プランジャーを押し込む際、針先が薬液につかないように注意しましょう。針先が薬液につかると、気泡を作ってしまうことがあります。



バイアルと注射器を逆さにし、注射針が薬液中に入った状態で、ゆっくりプランジャーを引き、やや多めの用量を注射器内に吸い取ります。



バイアルから注射針を抜く前に、気泡がないか注射器をチェックします。



気泡とは大きな  
空気の泡です。

大きな空気の泡



注射器内に気泡が認められる場合は、注射針を上に向けて注射器を持ち、気泡が上部にくるまで注射器の側面を軽くはじきます。



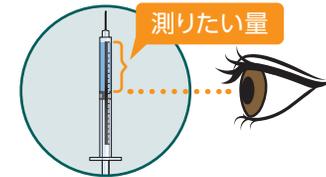
全ての気泡が注射器の上部に集まったら、プランジャーを軽く押し、気泡を注射器からバイアル内に押し戻します。



気泡がなくなったら、注射器内の薬液の用量を確認し、正確な量を吸い取ったことを確認します。



注射器を目と平行になるまで持ち上げて、シリンジのメモリを見て、正確な量が吸い取れたことを確認してください。プランジャーのゴムの先端が測りたい量のメモリの位置にあったら、正確な量が吸い取れたことを目安になるでしょう。



バイアルから注射針を抜き、注射針がどこにも触れないように注意して、置きます。



これで正確な用量を注射する準備ができました。



Check!

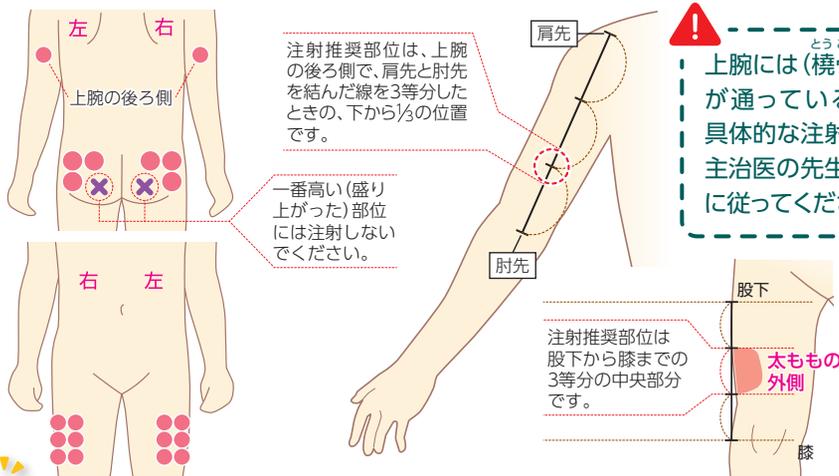
キャップの色が緑のバイアルには、他の色のバイアルと異なる濃度の薬液が入っています。キャップの色が緑のバイアルを他の色のバイアルと組み合わせて投与することを指示された場合は、別々のシリンジを用いて薬液を吸い取ってください。

## 注射部位について

ご家族による注射の場合やうで、太もも、患者さんご自身が注射する(自己注射)場合は太もも、お腹の中から最も注射しやすい部位を選びましょう。赤ちゃんや小さなお子さんの場合、的が広い、皮下脂肪が(うで、太ももに比べて)厚い、注射器がお子さんの目に触れないので恐怖心が少ないなどのため、おしりが選択されることもあります。

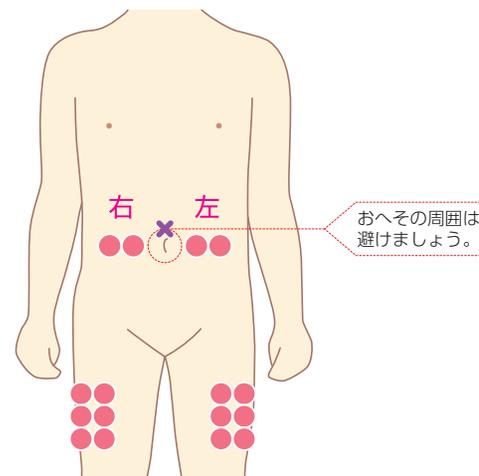
### ご家族による注射の場合

●皮下注射に適しているのは、うで、太もも、おしりです。



### 患者さんご自身で注射する(自己注射)場合

●皮下注射に適しているのは、太ももとお腹です。



### Check!

**同時に同じ部位に注射しないでください。**

- ・適切な注射部位を主治医の先生とご相談の上、注射部位の反応を防止・軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。
- ・同じ部位に続けて注射すると皮膚が固くなったり、効果が落ちる原因になったりしますので、注射部位は前回と少なくとも2~3cm離しましょう。

**詳しい注射部位のローテーションについては、主治医の先生の指示に従ってください。**

**注射部位1か所あたりに注射する薬液量は最大1mLとしてください。**

- ・1回あたり1mLを超える薬液を注射する必要がある場合は、注射部位1か所あたりの注射薬液量を1mL以下としましょう。
- ・さらに、1回に多くの部位に注射することは避け、注射する部位の数はできるだけ減らしてください。

## 注射の記録をつけましょう

注射のたびに注射した部位を記録してください。ストレンジック®投与日誌を活用いただければ幸いです。



注射の記録



ご家族による注射



自己注射

● 体重 ( ) kg ● 指示を受けた内容 週 ( 3 ・ 6 ) 回

● 以下の用量を投与すること

12mgバイアルを( ) mL  18mgバイアルを( ) mL  28mgバイアルを( ) mL

40mgバイアルを( ) mL  80mgバイアルを( ) mL

● 備考

● どこに注射しましたか？ 注射部位に日付を記入しましょう。  
適切な注射部位を主治医の先生にご相談の上、注射部位の反応を防止、軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。

	月 日 (月)	月 日 (火)	月 日 (水)	月 日 (木)
注射予定日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
注 射	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
注射予定日に注射が行われなかった理由	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください
メ モ (医師に伝えておきたいこと、気になることをお書きください)				
	月 日 (金)	月 日 (土)	月 日 (日)	
注射予定日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
注 射	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
注射予定日に注射が行われなかった理由	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください	<input type="checkbox"/> 打ち忘れ <input type="checkbox"/> 薬剤切れ <input type="checkbox"/> 医師の指示により中止 <input type="checkbox"/> 自身の都合 <input type="checkbox"/> その他 理由をメモに記載してください	
メ モ (医師に伝えておきたいこと、気になることをお書きください)				



投与日誌には、

- ・注射実施の有無、注射できなかった場合は、その理由
  - ・注射部位
  - ・注射した用量
  - ・注射に対する反応
- などを記録しましょう。

※投与日誌中の注射部位は目安です。☐のマスの以外ところに注射した場合は、該当する部位に日付を記入してください。

## 注射に使用するもの

注射に使用するものを準備しましょう。

### ● ストレンジック®の薬液が入っている注射器



### ● 消毒用アルコール綿



消毒用アルコール綿は、病院の指示に従ってご準備ください。

### ● 注射器廃棄容器、廃棄用のビニール袋



廃棄用のビニール袋は、病院の指示に従ってご準備ください。

## 誤って注射針を刺さないように気をつけましょう

誤ってご家族自身(ご家族による注射の場合)や注射部位以外の部位(自己注射の場合)に注射針を刺さないように気をつけましょう。

### 注射前 ご家族がご自身に誤って刺してしまった場合

ご家族による注射の場合、お子さんに注射する前に誤ってご家族がご自身に注射針を刺してしまった場合は、その注射器は使用せずに廃棄してください。

### 注射前 患者さんが注射部位以外の部位に誤って刺してしまった場合

自己注射の際、患者さんが注射部位ではない部位に誤って注射針を刺してしまった場合もその注射器は使用せずに廃棄してください。

### 注射後 ご家族がご自身に誤って刺してしまった場合

ご家族による注射の場合、お子さんへの注射後に誤ってご家族がご自身に注射針を刺してしまった場合は、主治医の先生にご相談ください。

## 注射の基本的な手順

注射部位はうで、太もも、おしり、お腹といろいろですが、注射の手順は基本的に同じです。

① 消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を広めに消毒します。



② 注射器を片手(利き手)に持ち、もう片方の手の親指と人差し指で注射部位の皮膚を軽くつまみます。



③ つまんだ皮膚内にゆっくり注射針を刺します。



④ 注射器のプランジャーを押して、薬液を注入します。



⑤ プランジャーを押し込み終えたら、ゆっくり10まで数えます。



⑥ プランジャーを押したまま、刺したときと同じ角度ですばやく注射針を抜きます。



⑦ 消毒用アルコール綿で注射部位を軽くおさえたら終了です。



アルコール綿でふいたら、アルコールが乾くまで待ちましょう。また、消毒した部位には、注射針を刺すまで手を触れないようにしてください。



注射針を抜くまで、皮膚はつまんだままにしておきましょう。



注射針の刺入の角度や深さは皮下脂肪の厚さによって異なります。主治医の先生の指示に従いましょう(3ページもご参照ください)。



プランジャーは親指か、人差し指か、どちらか押しやすいほうで押しましょう。

〈注射器の持ち方の基本〉



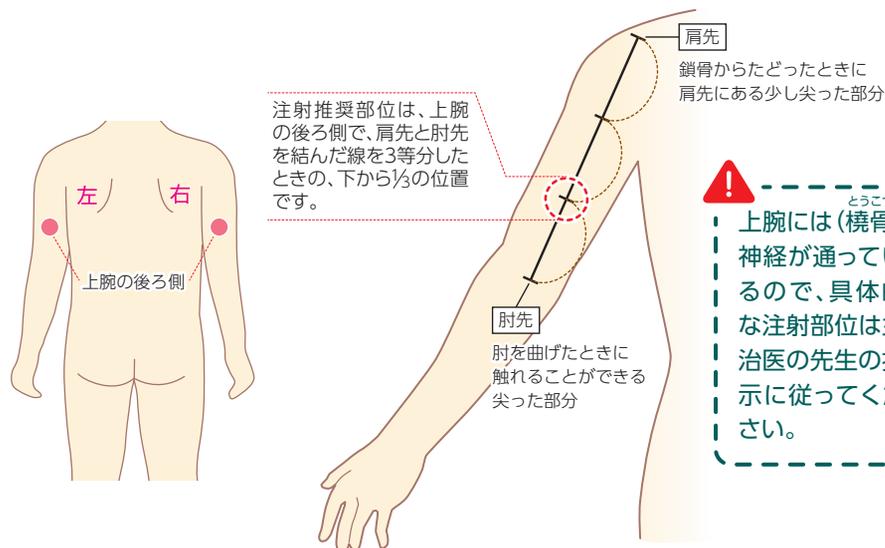
注射した場所をもむと腫れることがありますので、もまないようにしましょう。



### Check!

注射針を刺したときに痛みやしびれがあった場合はすみやかに針を抜き、痛みやしびれが軽減するか、確認しましょう。針を抜いた後も痛みやしびれが軽減しない場合は、主治医の先生にすぐに連絡してください。

## 注射部位：うでの場合



適切な注射部位を主治医の先生とご相談の上、注射部位の反応を防止・軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。

同じ部位に続けて注射すると皮膚が固くなったり、効果が落ちる原因になったりしますので、注射部位は前回と少なくとも2～3cm離しましょう。

また、どこに注射したか毎回記録してください。

詳しい注射部位のローテーションについては、主治医の先生の指示に従ってください。



ご家族による注射  
注射方法② うで



赤ちゃんや小さなお子さんの場合、注射の最中に動いてしまうことがあります。姿勢を工夫し、「すぐ終わるからね」と優しく励ましながら行いましょう。

お二人で協力して注射できる場合は、お一人がお子さんをしっかり抱えることができる姿勢をとりましょう。

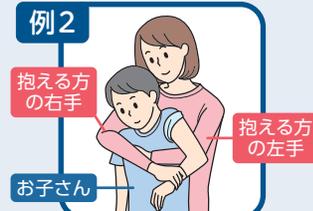
## お子さんの抱え方の例

## 例1



お子さんの前に立ち、左腕でお子さんの肩をしっかりとおさえ、右手でお子さんの左腕をつかむ

## 例2



お子さんの背後に立ち、お子さんの右肩先から右腕をまわしてお子さんの左腕をつかむ

## 例3



お子さんの背後に立ち、お子さんの左肩先から右腕をまわしてお子さんの左腕をつかむ



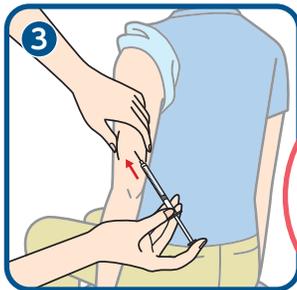
お子さんを楽な姿勢でイス等に座らせたら、消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を広めに消毒します。

**!** アルコール綿でふいたら、アルコールが乾くまで待ちましょう。



注射部位の皮膚を親指と人差し指で軽くつまみます。

**!** 強くつまみすぎると筋肉の組織まで持ち上げてしまう可能性がありますので、強くつまむのは避けましょう。

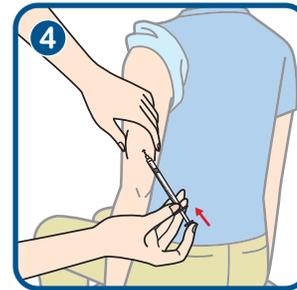


つまんだ皮膚内にゆっくり注射針を刺します。



親指で  
プランジャーを  
押す場合

**!** このとき、お子さんの年齢によっては腰に手を当ててもらって安定して注射ができるでしょう。



皮膚をつまんだまま、ゆっくり注射器のプランジャーを押して、薬液を注入します。

**!** 注射針を刺す角度や深さについては、主治医の先生の指示に従ってください。



プランジャーを押し込み終わったらゆっくり10まで数え、プランジャーを押ししたまま、刺したときと同じ角度ですばやく注射針を抜きます。

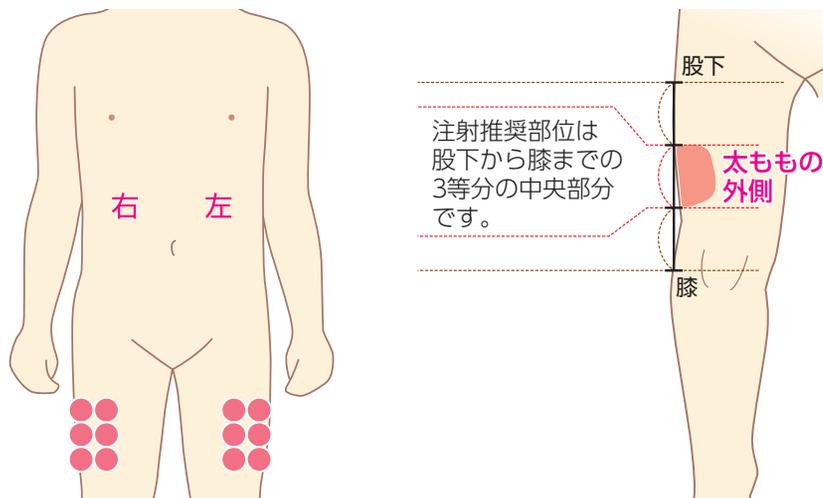


消毒用アルコール綿で、注射部位を軽くおさえます。

**!** このときアルコール綿で注射部位をもまないようにしましょう。

これで注射は終了です。

## 注射部位：太ももの場合



適切な注射部位を主治医の先生とご相談の上、注射部位の反応を防止・軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。

同じ部位に続けて注射すると皮膚が固くなったり、効果が落ちる原因になったりしますので、注射部位は前回と少なくとも2～3cm離しましょう。

また、どこに注射したか毎回記録してください。

詳しい注射部位のローテーションについては、主治医の先生の指示に従ってください。



ご家族による注射  
注射方法② 太もも



## Check!

赤ちゃんや小さなお子さんの場合、注射の最中に動いてしまうことがあります。姿勢を工夫し、「すぐ終わるからね」と優しく励ましながら行いましょう。

お二人で協力して注射できる場合、例えばお一人がお子さんを膝の上に乗せ、上半身を固定すると安定して注射ができるでしょう。

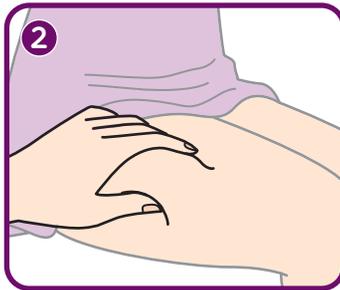
## お子さんの抱え方の例





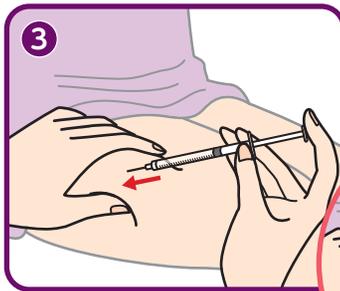
1 お子さんを楽な姿勢でイス等に座らせたら、消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を広めに消毒します。

! アルコール綿でふいたら、アルコールが乾くまで待ちましょう。



2 注射部位の皮膚を親指と人差し指で軽くつまみます。

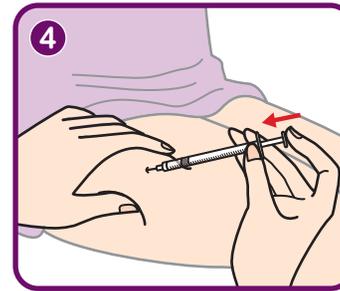
! 強くつまみすぎると筋肉の組織まで持ち上げてしまう可能性がありますので、強くつまむのは避けましょう。



3 つまんだ皮膚内にゆっくり注射針を刺します。

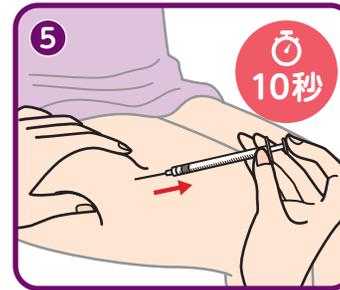


親指で  
プランジャーを  
押す場合



4 太ももをつまんだまま、ゆっくり注射器のプランジャーを押して、薬液を注入します。

! 注射針を刺す角度や深さについては、主治医の先生の指示に従ってください。



5 プランジャーを押し込み終わったらゆっくり10まで数え、プランジャーを押したまま、刺したときと同じ角度ですばやく注射針を抜きます。



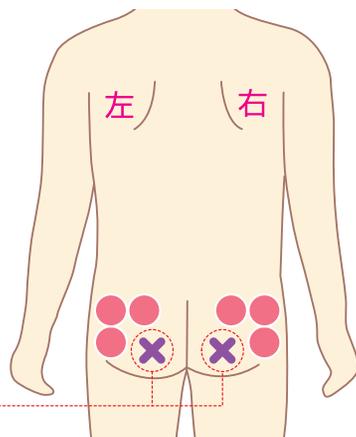
6 消毒用アルコール綿で、注射部位を軽くおさえます。

! このときアルコール綿で注射部位をもまないようにしましょう。

これで注射は終了です。

## 注射部位：おしりの場合

おしりは、的が広い、皮下脂肪が(うで、太ももに比べて)厚い、注射器がお子さんの目に触れないので恐怖心が少ないなどのため、赤ちゃんや小さなお子さんには、おしりに打つのもよいでしょう。



一番高い(盛り上がった)部位には注射しないでください。

おしりの一番高い(盛り上がった)部位には、脚に分布する神経の大きな束が走っていますので、この部位は避けて注射しましょう。具体的な注射部位については、主治医の先生の指示に従ってください。

適切な注射部位を主治医の先生とご相談の上、注射部位の反応を防止・軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。

同じ部位に続けて注射すると皮膚が固くなったり、効果が落ちる原因になったりしますので、注射部位は前回と少なくとも2~3cm離しましょう。

また、どこに注射したか毎回記録してください。

詳しい注射部位のローテーションについては、主治医の先生の指示に従ってください。



Check!

赤ちゃんや小さなお子さんの場合、注射の最中に動いてしまうことがあります。姿勢を工夫し、「すぐ終わるからね」と優しく励ましながら行いましょう。

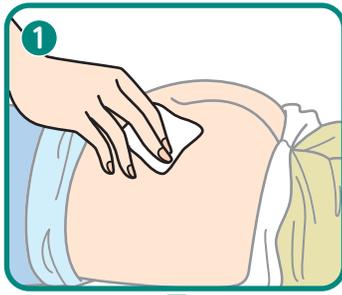
お二人で協力して注射できる場合は、例えばお一人が膝の上でお子さんにうつ伏せになってもらって、落ちつくように軽く上から固定してあげると安定して注射ができるでしょう。

## お子さんの抱え方の例



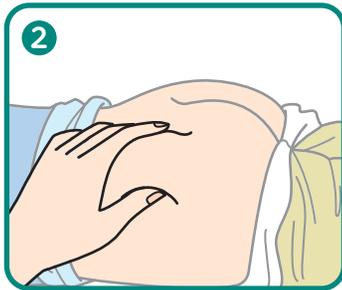
ご家族による注射  
注射方法② おしり





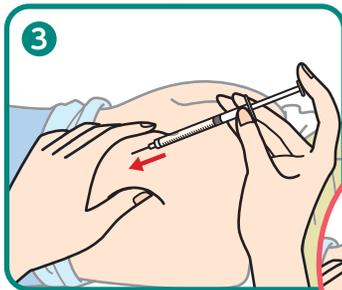
1 お子さんを楽な姿勢でうつ伏せに寝かせたら、消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を広めに消毒します。

! アルコール綿でふいたら、アルコールが乾くまで待ちましょう。



2 注射部位の皮膚を親指と人差し指で軽くつまみます。

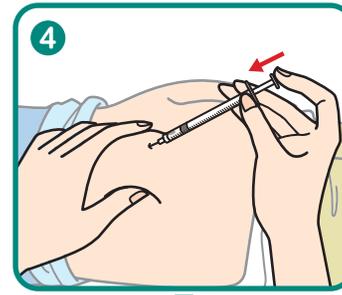
! 強くつまみすぎると筋肉の組織まで持ち上げてしまう可能性がありますので、強くつまむのは避けましょう。



3 つまんだ皮膚内にゆっくり注射針を刺します。

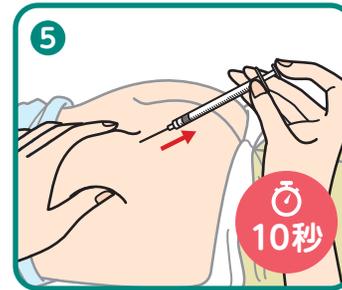


親指で  
プランジャーを  
押す場合



4 おしりをつまんだまま、ゆっくり注射器のプランジャーを押して、薬液を注入します。

! 注射針を刺す角度や深さについては、主治医の先生の指示に従ってください。



5 プランジャーを押し込み終わったらゆっくり10まで数え、プランジャーを押したまま、刺したときと同じ角度ですばやく注射針を抜きます。

10秒

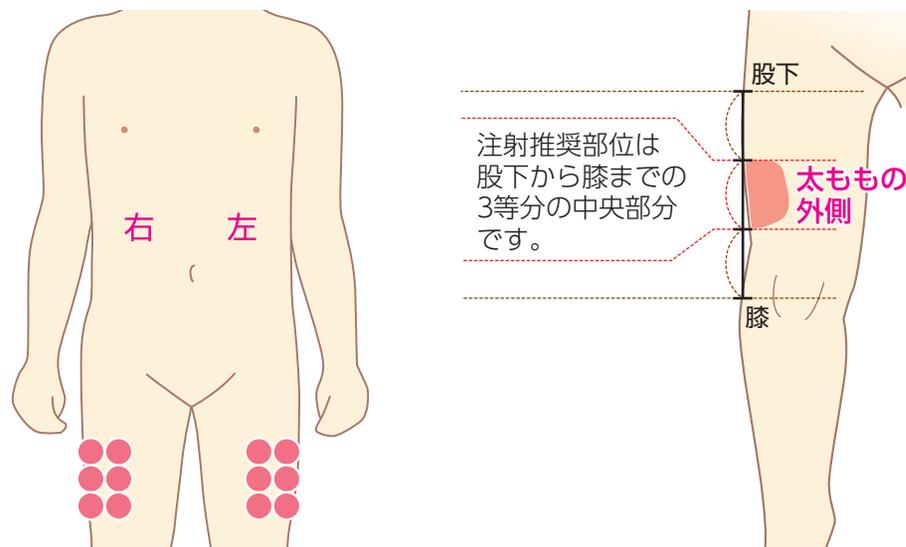


6 消毒用アルコール綿で、注射部位を軽くおさえます。

! このときアルコール綿で注射部位をもまないようにしましょう。

これで注射は終了です。

## 注射部位：太ももの場合



適切な注射部位を主治医の先生にご相談の上、注射部位の反応を防止・軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。

同じ部位に続けて注射すると皮膚が固くなったり、効果が落ちる原因になったりしますので、注射部位は前回と少なくとも2~3cm離しましょう。

また、どこに注射したか毎回記録してください。

詳しい注射部位のローテーションについては、主治医の先生の指示に従ってください。

自己注射  
注射方法② 太もも





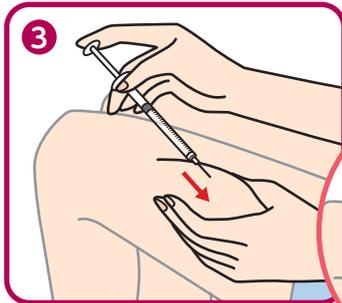
1 注射時はイスに座るなど楽な姿勢をとりましょう。  
消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を広めに消毒します。

! アルコール綿でふいたら、アルコールが乾くまで待ちましょう。

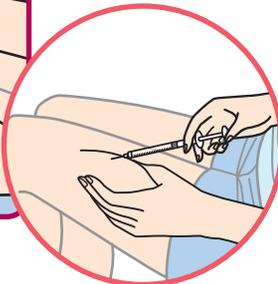


2 注射部位の皮膚を親指と人差し指で軽くつまみます。

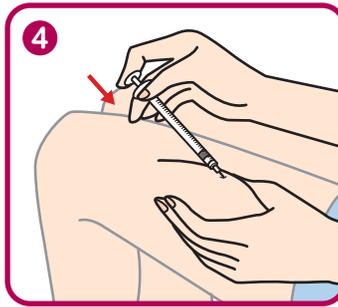
! 強くつまみすぎると筋肉の組織まで持ち上げてしまう可能性がありますので、強くつまむのは避けましょう。



3 つまんだ皮膚内にゆっくり注射針を刺します。

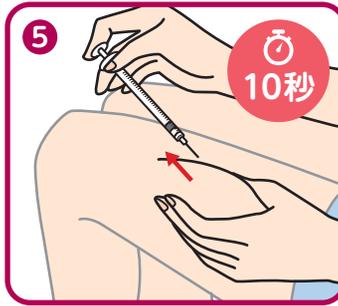


親指で  
プランジャーを  
押す場合



4 太ももをつまんだまま、ゆっくり注射器のプランジャーを押して、薬液を注入します。

! 注射針を刺す角度や深さについては、主治医の先生の指示に従ってください。



5 プランジャーを押し込み終わったらゆっくり10まで数え、プランジャーを押したまま、刺したときと同じ角度ですばやく注射針を抜きます。

🕒 10秒

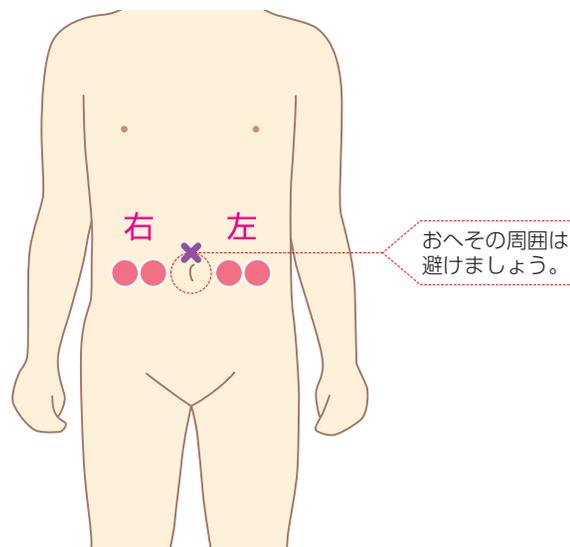


6 消毒用アルコール綿で、注射部位を軽くおさえます。

! このときアルコール綿で注射部位をもまないようにしましょう。

これで注射は終了です。

## 注射部位：お腹の場合



適切な注射部位を主治医の先生とご相談の上、注射部位の反応を防止・軽減するため、毎回違う場所に注射しましょう。

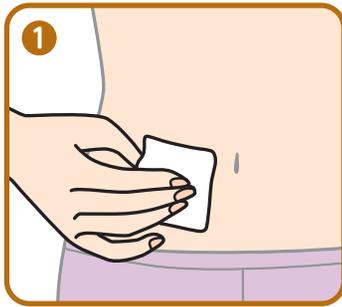
同じ部位に続けて注射すると皮膚が固くなったり、効果が落ちる原因になったりしますので、注射部位は前回と少なくとも2~3cm離しましょう。

また、どこに注射したか毎回記録してください。

詳しい注射部位のローテーションについては、主治医の先生の指示に従ってください。

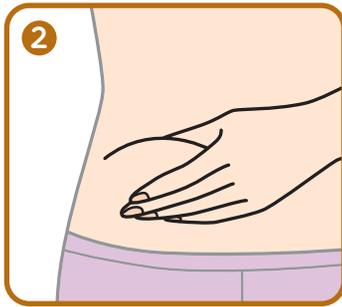
自己注射  
注射方法② お腹





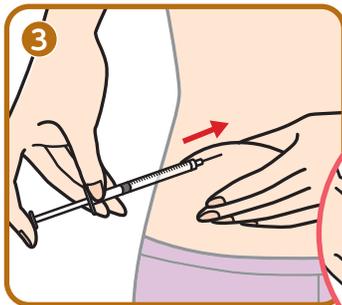
1 注射時はイスに座るなど楽な姿勢をとりましょう。  
消毒用アルコール綿で注射部位の皮膚を広めに消毒します。

❗ アルコール綿でふいたら、アルコールが乾くまで待ちましょう。

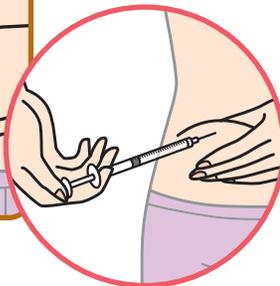


2 注射部位の皮膚を親指と人差し指で軽くつまみます。

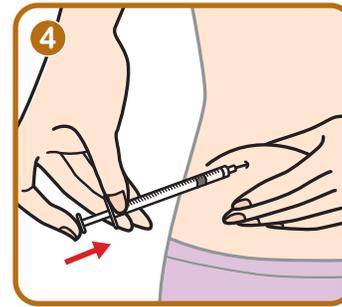
❗ 強くつまみすぎると筋肉の組織まで持ち上げてしまう可能性がありますので、強くつまむのは避けましょう。



3 つまんだ皮膚内にゆっくり注射針を刺します。

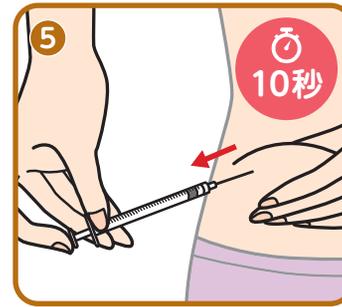


親指で  
プランジャーを  
押す場合



4 お腹をつまんだまま、ゆっくり注射器のプランジャーを押して、薬液を注入します。

❗ 注射針を刺す角度や深さについては、主治医の先生の指示に従ってください。



5 プランジャーを押し込み終わったらゆっくり10秒まで数え、プランジャーを押ししたまま、刺したときと同じ角度ですばやく注射針を抜きます。



6 消毒用アルコール綿で、注射部位を軽くおさえます。

❗ このときアルコール綿で注射部位をもまないようにしましょう。

これで注射は終了です。



廃棄方法



ご家族による注射

自己注射



## 廃棄物について

使用済みの注射器は注射器廃棄容器に、バイアル・バイアルの上ぶた・注射針キャップは廃棄用のビニール袋に入れて、病院に持参してください。

### 使用済み注射器の廃棄



使用済みの注射器は注射器廃棄容器に廃棄します。



注射器廃棄容器のふたはしっかりと閉めましょう。



注射針に再びキャップをかぶせないでください。

この容器(写真)には、1mLシリンジが約60本廃棄できます。



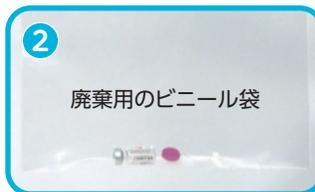
Check!

使用済み注射器を入れた注射器廃棄容器、バイアル・バイアルの上ぶた・注射針キャップなどを入れた廃棄用のビニール袋は、子どもと動物(ペット)の手の届かないところに保管してください。

### 使用済みバイアル・バイアルの上ぶた・注射針キャップの廃棄



バイアルの上ぶた      バイアル      注射針キャップ

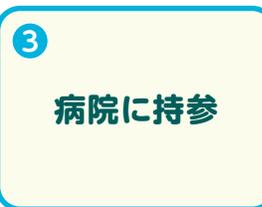


廃棄用のビニール袋

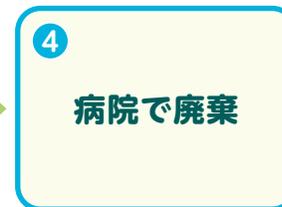
使用済みのバイアル・バイアルの上ぶた・注射針キャップは廃棄用のビニール袋に廃棄します。



注射針や注射針が付いたものは、廃棄用のビニール袋ではなく、必ず注射器廃棄容器に廃棄してください。



3 病院に持参



4 病院で廃棄

持参していただいた注射器廃棄容器と廃棄用のビニール袋は、病院で廃棄します。

※廃棄方法は病院によって異なる場合がありますので、病院の指示に従ってください。

## 保管・廃棄について

- Q** ストレンジック®を凍らせてしまった場合、どうしたらよいですか？
- A** 凍ったことがわかった場合、または疑われる場合には、決してそのストレンジック®を注射しないでください。
- Q** 残った薬は保管して次回使えますか？
- A** 残った薬は全て廃棄してください。次回に使用することはできません。

## 注射について

- Q** 注射のたびに新しいシリンジを使用する必要がありますか？
- A** 注射のたびに新しいシリンジを使用してください。
- Q** 注射に使用するシリンジの大きさは決まっていますか？
- A** 決められたものではありません。1か所の最大薬液量は1mLのため、1mLまたは2.5mLのシリンジがよく使われています。
- Q** 注射針を引き抜いたときに、針先から液がもれてしまいました。どうしたらよいですか？
- A** 注射をしてから注射針を抜くまでの時間が短いかもしれませんが、針を刺して薬液を注入してから10秒くらい待ってから針を抜くようにしましょう。
- Q** 注射針を引き抜いたときに注射部位から液もれが発生しました。どうしたらよいですか？
- A** 皮膚をつまんでいる圧力のために液もれが発生した可能性があります。皮膚をつまむ手を離し、10秒たってから針を抜くようにしましょう。

## 注意事項

- ・薬剤の準備または注射に関すること、注射に対する反応について気がかりな点がある場合は、主治医の先生にご相談ください。
- ・注射後に現れる可能性のある症状については、冊子「ストレンジック®の治療を受ける患者さんとご家族の方へ」をご参照ください。

- Q** 注射をする前に室温に戻してとありますが、遮光する必要はありますか？
- A** 冷蔵庫から取り出し15～30分で室温に戻し、3時間以内に使用します。この間、遮光の必要はありません。
- Q** 注射器廃棄容器には何本の注射器が入りますか。予備の容器はもらえますか？
- A** 注射器廃棄容器には、1mLのシリンジが約60本入ります。足りない場合には予備の容器をお渡しします。
- Q** 注射の痛みが気になります。どうしたらよいですか？
- A** あらかじめ氷などで注射部位を冷やしておくと言われている場合があります。また、一般的には皮下脂肪の多い部位に注射したり、薬液の注入スピードを遅くしたりするほうが痛みが少ないと感じる方が多いようです。
- Q** 注射部位がかゆくなったり、腫れてしまったときはどうしたらよいですか？
- A** 主治医の先生に連絡し、指示を受けてください。ご自身の判断で塗り薬を塗ったりしないでください。
- Q** 注射するときに注入が重く感じられる場合はどうしたらよいですか？
- A** 注射針が詰まっている可能性があります。新しいシリンジで再度初めから注射の準備をしてください。
- Q** 薬液を注入したら皮膚が(蚊に刺されたように)プクッと膨らんでしまうことがあります。だいじょうぶでしょうか？
- A** 注射針がきちんと皮下に入っただけでしたら皮膚が膨らんでもだいじょうぶです。

